

河川の維持管理

堤防除草・樹木伐採

河川巡視や堤防等点検を円滑に行い、川の中に繁茂した樹木が洪水の流れを妨げないようにするため、堤防除草や樹木伐採を計画的に実施しています。



公募伐採

河川に生えている樹木の伐採は、チェーンソーなどで樹木を切断し、切断した樹木は集積し、処分場へ運搬、処分という手順で行い、多額の費用がかかります。

そのため伐採費用のコスト削減として、希望する方を募り河川内の樹木を伐採していただく『公募伐採』を一部の地域で行っています。伐採した樹木は参加者で持ち帰っていただき、薪ストーブの燃料などに使われています。

伐採前



伐採後



河川の危機管理

いつ発生するか分からない災害に備えて、河川の状態把握に努めているほか、災害対策機械の訓練や水防対応に必要な資機材の確保、水防関係機関との連携などに努めています。

災害対策機械

地域防災拠点として、排水ポンプ車、照明車、衛星画像伝送装置等を配備し、毎月訓練を行って、災害に備えています。



新黒川水門 ポンプ車による排水状況（R1.10.13）

水防訓練



月の輪工